



能登半島地震復興支援活動報告【2026年1月時点】

2026/2/12

Japan Football Association

能登半島地震復興支援プロジェクト

JFA



理事会報告事項

令和6年能登半島地震および能登半島豪雨災害の支援活動を、以下の通り継続して実施する。

(1) 登録料免除および特別対応措置の延長

「国内における自然災害等による被害に対する支援事業に関するガイドライン」3. 支援内容 (3) 個別支援⑤各種登録料の免除に基づき、以下の通り JFA 登録料 (チーム、審判、指導者) の 免除ならびに資格更新における特別対応等を延長する。

対象者：能登半島地震発生時 (2024 年 1 月 1 日時点) の石川県内の被災 6 市町 (七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町) の登録者 (チーム、指導者、審判) および石川県 FA が必要と認めた者

期間：2026年4月1日～2027年3月31日

(2) 復興支援特任リーダーの任命

北野孝一氏を復興支援特任リーダーに任命し、サッカーを通じた被災地支援活動の充実を図る。

氏名：北野孝一 (きたの こういち)

契約期間：2026年4月1日～2027年3月31日

主な業務：①被災エリアの状況やニーズの把握 ②被災エリアなどにおけるサッカーを通じた支援活動の実施 ③被災エリアなどにおける各種復興支援イベントへの協力 ④その他 JFA が必要と判断した業務

任命理由：①石川県 FA の会長であり、石川県内の事情に精通しているため ②地震発生直後より、自ら積極的に復興支援活動に取り組んでいるため

参考：能登半島地震復興支援活動2年間の活動報告



参考：2年間の活動報告

2026/2/12

Japan Football Association

能登半島地震復興支援プロジェクト

JFA



2年間の主な活動内容

2024年

2025年

2026年

子どもたちのこころのケア（学校等の訪問等）



2024年9月豪雨災害
家屋の片付け・泥かき等の
災害ボランティア団体の活動にも参加



2025年 73回 3,741人



2024年 125回 11,600人

このほか、オンライン交流、夢キャンプ、夢の教室、文京DreamProject応援フェス等を実施

コミュニティ支援（ウォーキングフットボール）



仮設グラウンドの芝生化
多くのボランティアとともに
学校の仮設グラウンドの芝生化を実施

情報発信

能登半島地震の記憶と教訓を
これからの未来につなげていくため
10月・11月の各日本代表戦と
1月1日皇后杯決勝戦で
防災・復興支援ブースを展開

ワークショップ参加者数
10回 3,500人

数字で見るJFAの復興支援活動

2024年1月～2025年12月の実績

子どもたちのこころのケア

アスリートによる学校・園への訪問

198回 15,341人

訪問したアスリート のべ629人

エースバーンの参加 15回

学校・園への訪問に関連して...

近隣の高齢者福祉施設等への訪問 10回

訪問後の災害ボランティア活動 6回
(2024年9月豪雨災害後・JFA関係分のみ)

現地での移動距離 (主に金沢～能登半島各地)

約24,000km

青森～鹿児島 (約1,900km) の約6往復

コミュニティ支援

JFA・キリン ビッグスマイルフィールド

ウォーキングフットボールイベント 7回 663人

夢キャンプ

JFA Partnership Project for NOTO
JFA夢フィールドでのSAMURAI BLUEとの交流

参加者数 120人

復興支援マッチ

MS&ADカップ2024 なでしこジャパン vs ガーナ女子代表

観客数 9,648人

支援物資等の提供

飲料の提供 約600人分
(豪雨災害後の緊急支援)

被災者へのウェアの提供 約3,000着

訪問園へのミニゴールの提供 約100セット

訪問園でのスターターキットの提供 約2,000セット

避難所等への缶詰の提供 約2,000セット

文京区への招待

輪島市中学校のスポーツ交流・職場体験学習・夢の教室
(2024年・2025年2回実施)

参加した中学2年生 160人

多くのご支援により、様々な支援活動を実施することができました。
ご協力ありがとうございました。引き続き、被災地へのあたたかい
応援をよろしくお願いいたします。

JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

サッカーの
普及

サッカーの普及に努め、
スポーツをより身近にすることで、
人々が幸せになれる環境を作り上げる。

サッカーの
強化

サッカーの強化に努め、
日本代表が世界で活躍することで、
人々に勇気と希望と感動を与える。

社会の
発展への
貢献

常にフェアプレーの精神を持ち、
国内の、さらには世界の人々との
友好を深め、国際社会に貢献する。

JFAのビジョン

2024年1月1日
能登半島地震による被害

人的被害

死者672人 行方不明2人 (10月15日時点)
※災害関連死444人含む

建物損壊

住家被害165,376棟 (10月15日時点)

公費解体 (災害廃棄物)

解体予定42,178棟 完了件数41,297棟
解体率97.9% (11月末時点 石川県のみ)

避難生活・応急仮設住宅

応急仮設住宅164団地6,882戸
(2024年12月24日時点 石川県のみ)

学校、保育所等の被害

学校1,792校 (5月30日時点)
児童福祉施設219施設 (5月13日時点)

2024年9月21日～23日
能登半島豪雨による被害

死者 19人 住家被害1,902棟
(12月24日時点) ※災害関連死3人含む



JFAサッカーファミリー
復興支援金

がんばろう  能登!
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

現在までにお預かりした支援金

116,507,438円

2025年11月時点



JFAパートナーとの活動

日本赤十字社への義援金拠出

5,000,000円

2024年1月理事会決議

活動

JFAが被災者に対して直接実施

2024年度～26年度の計画

約7,000万円

- ・子どもたちのこころのケア (アスリート訪問)
- ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」の実施
- ・学校体育サポート
- ・その他、被災地における復興支援イベント開催や被災者の各種イベントへの招待
- ・豪雨後の災害ボランティア活動への参加

支援

コミュニケーション

2024年度～26年度の計画

約1,300万円

被災地域の
復興を応援

支援の輪を
広げる

- ・石川県協会の活動の支援 (登録料・交通費等)
- ・防災の日イベント開催 (パートナーとの連携)
- ・地域産業の支援 (ふるさと納税返礼品サポート)
- ・クラウドファンディングの実施
- ・チャリティオークションの実施
- ・被災地の現状を知ってもらう情報発信
- ・支援いただいている方々への情報発信
- ・豪雨後の情報発信、支援呼びかけ

施設整備・用具提供

2024年度～26年度の計画

約1,500万円

- ・サッカー施設復旧支援
- ・ミニゴール、用具等の配布
- ・豪雨災害後の生活物資等の提供



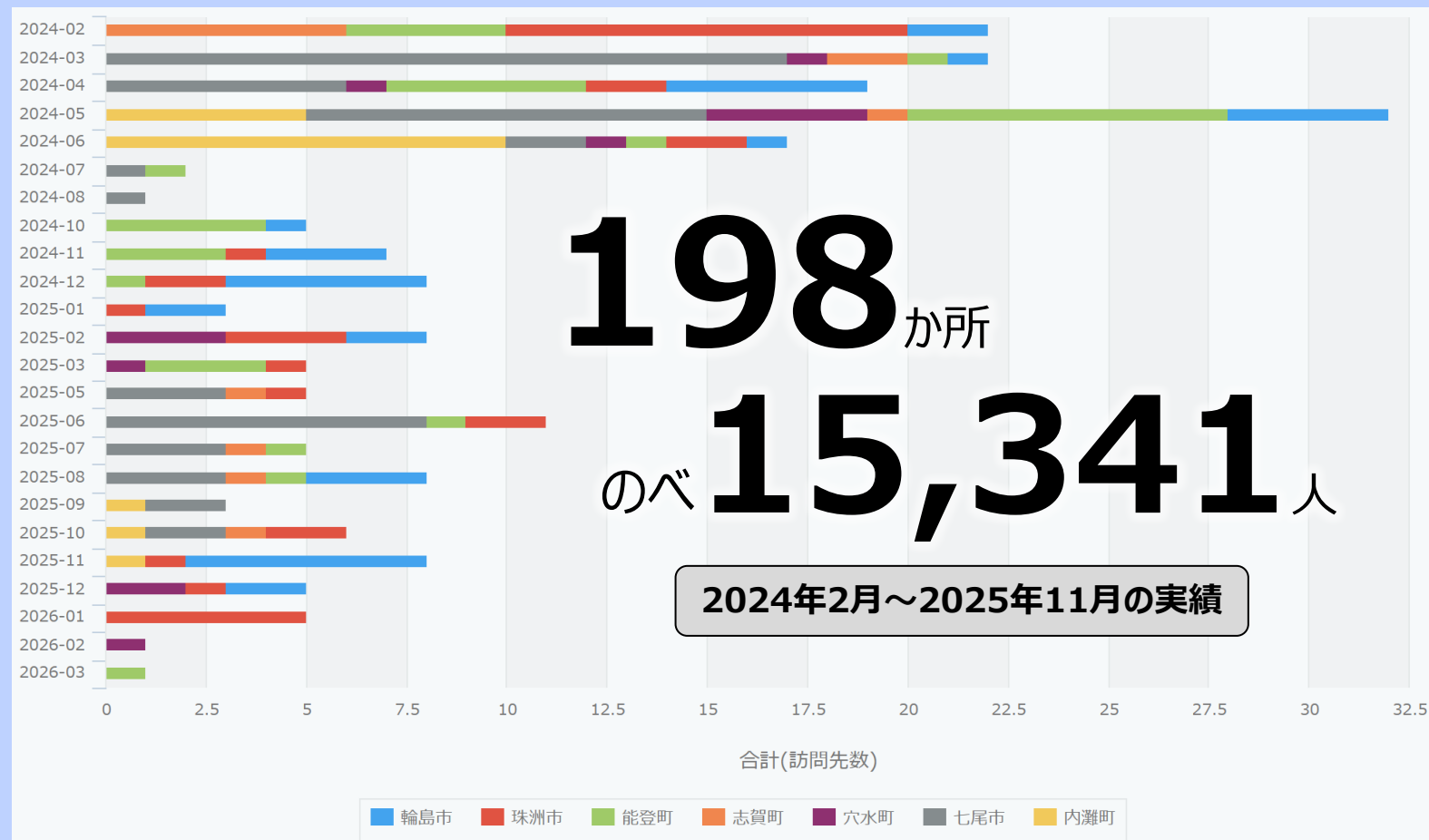
訪問地域：能登半島の被災6市町と内灘町

対象：小学校、中学校、高校、特別支援学校、幼稚園、保育園等

訪問者：日本代表選手、日本代表OBOG、日本財団HEROs、

トップリーグ連携機構、プロサッカー選手会、ツエーゲン金沢 ほか

2026年度も被災地のニーズに合わせて前年の2/3の規模で実施予定





合計

116,507,438円
(2025年11月現在)

このほかに、多くの皆様から物品や役務等のご提供をいただきました。ありがとうございました。

■ チャリティオークション

41,650,380円

■ 試合会場等での募金活動

1,181,420円

■ 復興支援マッチ・練習公開関連 (2024/7/13ほか)

51,604,298円

■ クラウドファンディング (2024/2/26～5/15)

2,373,500円 (目標の237%)

[被災地に力を | 能登半島地震サッカーファミリー復興支援金](#)

■ サッカーファミリー復興支援金口座 (2024/2/26～)

5,416,966円

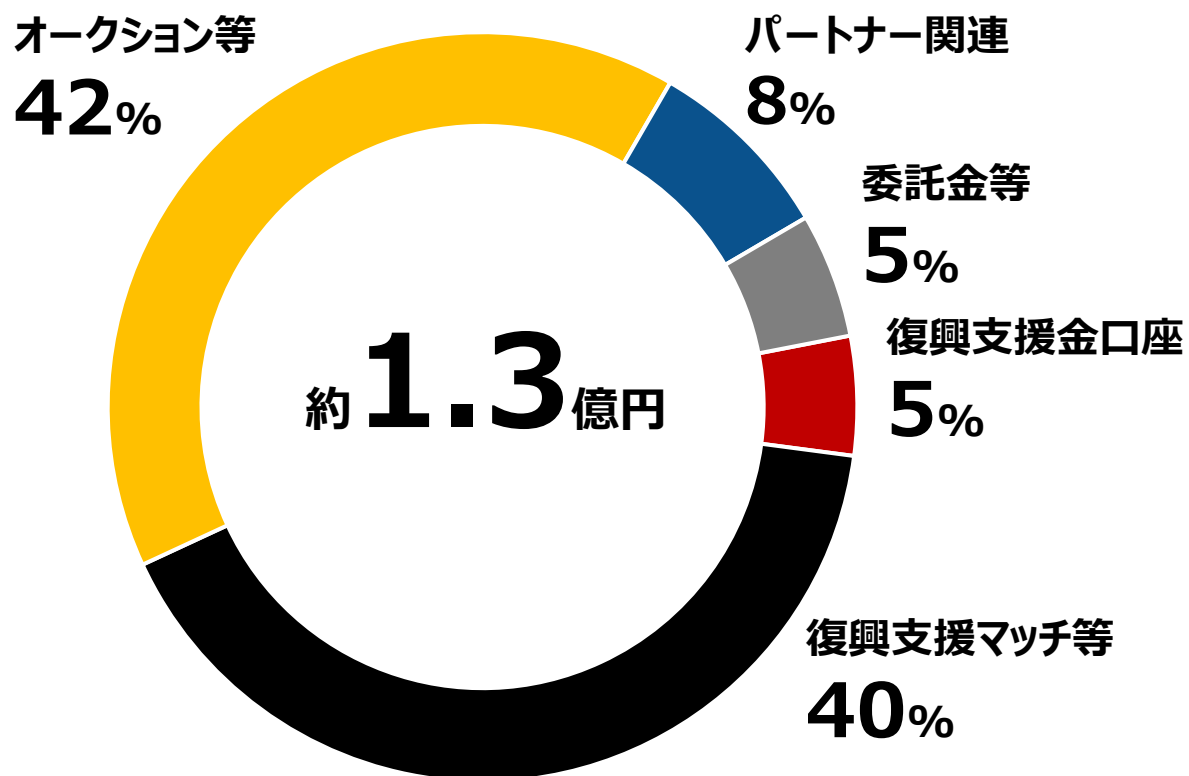
[被災地に力を | 能登半島地震サッカーファミリー復興支援金](#)

■ パートナー企業や行政等からの支援

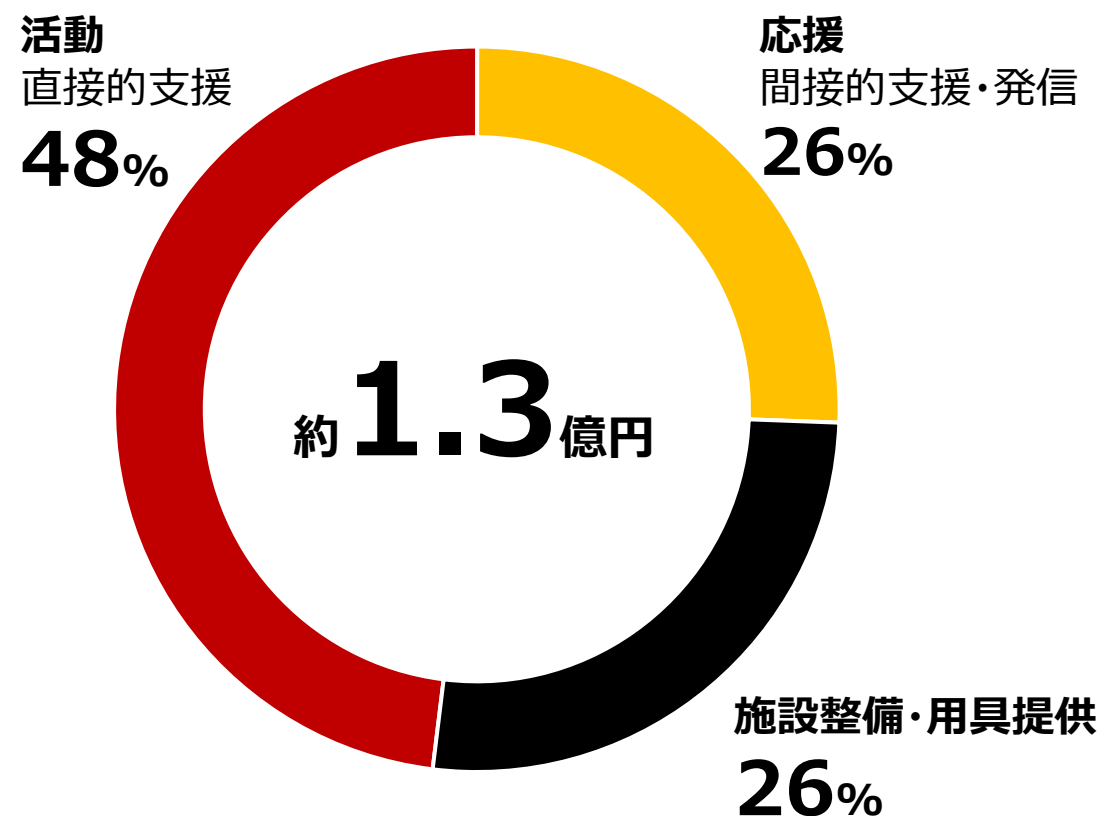
14,280,874円

2024年～2026年の収支計画

収入



支出





Thank you.